



みんなでひなんカップ短縮版

キーワード

教育・啓発

こんな方におすすめ

防災教育のための時間があまり確保できない
小学生などの子どもを対象に学ばせたい

みんなでひなんカップ短縮版を使用したワークショップの流れ

- ① ハザードマップを見て、災害リスクを理解する。
- ② EVAGタウンの住民（カップ人形）が避難できない課題と解決案を付箋に書く。
- ③ カテゴリー（避難方法・家族・健康・外国人・ペット等）に分けた模造紙に貼り出し、共有する。

必要なもの

- ・ カップ人形
- ・ 模造紙
- ・ 筆記用具
- ・ ハザードマップ
- ・ 付箋

防災・減災を学ぶイベント「防災ハイキング」で実施しました

目的 地域の災害リスクを知る。
多様な住民の避難行動を考えることで
災害時の地域課題と解決策を考える。

所要時間 1人あたり15分

場所 大阪府豊中市 服部緑地公園
ボランティアセンター

参加者 一般市民・親子連れ 計100名
(対象年齢：小学生以上)

参加者の感想

- ・ このワークショップには正答はなく、避難時のそれぞれの課題に気づくことだ。
- ・ 短時間でも、よりポジティブな解決策を見つけ出すことができる。
- ・ 災害時の工夫や日頃からの備えについて気づきがあった。
- ・ 難しいけれど、おもしろい！
- ・ みんな英語を勉強したら伝えられる。

